

**亘理町立学校給食センター
整備運営事業**

審査講評

令和6年8月13日

亘理町立学校給食センター整備運営事業者選定委員会

亘理町立学校給食センター整備運営事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、亘理町立学校給食センター整備運営事業（以下「本事業」という。）に関して、審査基準書（令和6年1月26日公表）に基づき、提案内容等の審査を行ったので、審査結果及び審査講評を報告する。

令和6年8月13日

亘理町立学校給食センター整備運営事業者選定委員会
委員長 石井 敏

目 次

第1 審査の概要	1
1 優先交渉権者の決定方法	1
2 審査の進め方	1
3 選定委員会の経緯	2
第2 審査結果	2
1 審査確認	2
2 提案審査	3
1) 基礎審査	3
2) 総合審査	3
3 審査講評	5
1) 各審査項目の講評	5
2) 総評	9
3) 事業実施にあたっての要望	9

第1 審査の概要

1 優先交渉権者の決定方法

本事業の実施においては、設計、建設、維持管理及び運営に関する専門的な知識やノウハウが求められることから、優先交渉権者の決定にあたっては、提案価格のほか、設計、建設、維持管理運営等の提案内容、事業計画の妥当性・確実性等の観点から総合的に評価を行う公募型プロポーザル方式を採用した。

2 審査の進め方

審査は、以下の手順で実施した。

- ア) 資格審査：第一次審査として応募資格の有無を確認した。
- イ) 提案審査：第二次審査として応募者からの提案内容を審査した。審査は「基礎審査」と「総合審査」から構成され、「基礎審査」では、提案価格及び提案内容が募集要項等に示す条件を満たしているか否かを確認した。「総合審査」では、提案価格及び提案内容を様々な視点から総合的に評価した。

資格審査及び基礎審査は亘理町が行い、総合審査については、選定委員会が実施した。選定委員会は、学識経験者及び亘理町職員で構成され、本書の基準に基づいて提案価格及び提案内容の審査を行うほか、事務局が提案価格の評価を行い、それぞれの評価点の合計により提案者の順位を決定する。亘理町は、総合審査による審査結果を踏まえ、優先交渉権者を決定した。

委員は、以下のとおりである。

[敬称略]

役 職	氏名	所属等
委員長	石井 敏	東北工業大学 建築学部 建築学科 教授（副学長・建築学部長）
委 員	氏家 幸子	元仙台白百合女子大学 人間学部 健康栄養学科 准教授
委 員	千葉 文彦	副町長
委 員	亘理町 教育長*	
委 員	亘理町 総務課 課長	
委 員	亘理町 財政課 課長	

※令和6年4月1日付人事異動に伴い変更。

3 選定委員会の経緯

	日程	主な議題
第1回	令和5年12月25日	・ 審査基準に対する意見交換
第2回	令和6年6月5日	・ 応募状況と資格審査結果について ・ 提案内容の意見交換 ・ ヒアリングの進め方について
第3回	令和6年6月26日	・ 提案審査（プレゼンテーション・ヒアリング） ・ 優先交渉権者の決定、審査講評（案）について

第2 審査結果

1 審査確認

令和6年4月5日（金）までの間に、3つのグループから参加資格確認に関する書類の提出があった。これらの応募グループの参加資格の審査を実施したところ、いずれのグループも当該参加資格を満たすことが確認できたことから、令和6年4月19日（金）に書面にてその結果を通知するとともに、応募グループにはそれぞれ提案受付番号を設定し、企業名を伏せてその後の審査を行った。

応募グループの呼称については、それぞれ「0509 グループ」、「3257 グループ」、「7684 グループ」とすることとした。

表 応募者

0509 グループ	代表企業 構成企業	株式会社東洋食品 株式会社楠山設計、仙建工業株式会社、株式会社斎藤工務店、伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社、東北アイホー調理機株式会社、株式会社アイホー山形営業所
3257 グループ	代表企業 構成企業	株式会社橋本店 株式会社ジーエスエフ、株式会社盛総合設計、阿部春建設株式会社、太平ビルサービス株式会社仙南営業所、日本調理機株式会社東北支店、大和リース株式会社仙台支社
7684 グループ	代表企業 構成企業	株式会社メフォス 阿部建設株式会社、株式会社相和技術研究所仙台事務所、株式会社シグマツト、株式会社中西製作所東北支店、株式会社東急コミュニティー

2 提案審査

1) 基礎審査

(1) 提案価格の確認

亘理町は、3グループそれぞれの提案価格が、すべて提案上限額の範囲内であることを確認した。

(2) 提案書類の確認

亘理町は、3グループそれぞれの提案書類が、すべて審査基準に示す提案書類の確認内容を満たしていることを確認した。

2) 総合審査

総合審査は、審査基準に基づき、提案価格の評価の得点が30点、提案内容の評価の得点が70点の合計100点満点で評価しました。

(1) 提案価格の評価

提案価格については、以下の方法で評価し得点化（小数点第3位以下を四捨五入）しました。3グループそれぞれの得点は「表 提案価格の得点」のとおりでした。

$$\text{提案価格 A の得点} = (\text{最低の提案価格} \div \text{提案価格 A}) \times 30$$

表 提案価格の得点

グループ	0509 グループ	3257 グループ	7684 グループ
提案価格（税込み）	5,056,597,000 円	5,279,670,000 円	5,304,051,760 円
得点	30.00 点	28.73 点	28.60 点

(2) 提案内容の評価

提案内容については、選定委員会が「表 内容評価の採点基準」に基づき評価項目ごとに A～D の4段階で評価したことで得られた採点をもって得点化（小数点第3位以下を四捨五入）しました。3グループそれぞれの得点は「表 内容評価の得点」のとおりでした。

表 内容評価の採点基準

評価	評価内容	採点基準
A	大いに期待できる提案である	配点×1.00
B	十分検討された提案である	配点×0.75
C	提案が妥当である	配点×0.50
D	提案が不十分である	配点×0.25

表 内容評価の得点

評価項目	0509 グループ	3257 グループ	7684 グループ
選定委員会評価点	53.14 点	54.37 点	55.63 点

(3) 審査結果

3 グループそれぞれの提案価格の得点と内容評価の得点との合計得点は「表 総合審査の合計得点」のとおりであり、最も得点の高かった株式会社メフォスを代表企業とする応募者（7684 グループ）を優先交渉権者として決定しました。

表 総合審査の合計得点

グループ	0509 グループ	3257 グループ	7684 グループ
提案価格の得点	30.00 点	28.73 点	28.60 点
提案内容の得点	53.14 点	54.37 点	55.63 点
合計得点	83.14 点	83.10 点	84.23 点

3 審査講評

1) 各審査項目の講評

1 事業計画全般に関する事項

評価項目	講評
1 取組方針・事業実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0509 グループは、ノウハウやアイデアが十分にあり、役割分担も明確であった。また、外部機関を含む階層的セルフモニタリングが極めて適切で亘理町のモニタリングへ協力的である。しかし、亘理町内企業の活用の提案内容が不十分であったため、評価が低かった。 ・ 3257 グループは、役割分担が明確で、亘理町とともに「モニタリング基準書」を設けるなど独自性があった。しかし、亘理町内企業との連携に関する提案が限定的で、アイデアなど具体的な提案が不足していたため、評価が低かった。 ・ 7684 グループは、3グループの中で特にチームとして事業を運営していこうという意気込みが感じられたため、高く評価した。
2 事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ すべてのグループにおいて、スケジュール内容や遅延対策は妥当であった。 ・ 特に 3257 グループは、工種ごとのスケジュール管理がなされている点、事業スケジュールに対するリスク対策として、中間目標を明確にしたスケジュール管理が示されている点や、マイルストーンの提案がある点から高く評価した。 ・ 0509 グループは、リスク対策にかかる説明が他2グループより詳細な提案がある点や、マイルストーンの提案がある点を評価した。 ・ 7684 グループは、工種ごとのスケジュール管理がなされている点を評価した。
3 リスク管理（事業スケジュール以外）	<ul style="list-style-type: none"> ・ すべてのグループにおいて、リスクマネジメント管理は極めて良好であり、保険付保も幅広く対応している提案であった。 ・ 特に 7684 グループは、要求水準を上回る保険付保の提案がなされている点、物価変動リスクに対する提案があった点や、異物混入や食物アレルギー対応への説明がわかりやすい点から高く評価した。 ・ 0509 グループは、要求水準を上回る保険付保の提案がなされていたため、評価した。 ・ 3257 グループは、物価変動リスクに対する提案があった点や要求水準を満たす保険付保の提案がされていたため、評価した。
4 災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ すべてのグループにおいて、災害対策については、支援のマニュアルもしっかりと確立されていて安心できる提案であった。 ・ 特に 7684 グループは、BCP（事業継続計画）が適切に策定されている点や災害発生時に本施設で炊き出しが可能である点が評価につながった。移動式煮炊き釜など具体的で、かつグループ一体となった支援が明記されており評価した。 ・ 0509 グループは、災害発生時のBCP（事業継続計画）の策定が適切に明記されている点や、災害発生時に本施設で炊き出しが可能である点が評価につながった。 ・ 3257 グループは、「亘理町地域防災計画」を念頭に置き、かつ24時間365日対応可能な内容でBCP（事業継続計画）に関する提案もみられたが、災害時の具体的な対応の提案が見られなかった。

評価項目	講評
5 地域経済・地域社会への配慮や貢献	<ul style="list-style-type: none"> 0509 グループは、亶理町内雇用にかかる育成チーム発足など具体的な提案がなされていたが、地元企業数が少なく、経済効果が限定的であった。 3257 グループは、亶理町内雇用にかかる雇用条件など具体的な提案がなされており、現実的な提案であったため、高く評価した。 7684 グループは、指導層を除く100%地元雇用を目指す提案のほか、地元企業の活用、経済効果、パートナー予定企業の支援内容など詳細かつ具体的に提案されていたため、評価した。
6 環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 0509 グループと7684 グループは、資源物の減量及びリサイクルなどの具体的な提案がなされており、コスト削減金額の提案があり明確であった。 一方、3257 グループは、亶理町の環境に対する取り組みを理解しているものの、資源物の減量及びリサイクルなどの具体的な提案がなく、コスト金額としての提案が不十分であったため、評価が低かった。

2 施設整備業務に関する事項

評価項目	講評
1 業務実績	<ul style="list-style-type: none"> すべてのグループにおいて、業務実績は十分であり、評価した。
2 配置計画	<ul style="list-style-type: none"> すべてのグループにおいて、動線、配置、安全確保など十分に配慮された提案がなされていた。 特に、7684 グループは、敷地入口を南側、出口を東側の対角線上に出入口を設け、敷地内を一方通行とし安全確保に努めた提案がなされており、高く評価した。 0509 グループと3257 グループは、歩行者通路カラー舗装や出入口南側にしているなど工夫があり、評価した。
3 内部計画	<ul style="list-style-type: none"> すべてのグループにおいて、安全性や効率性、食材の安全性確保に十分配慮され、アレルギー室を確保していた。 0509 グループは、食材の動線が交差せず、食材の温度管理について提案がなされていた点や、アレルギー室の調理室の他に盛り付けスペースが十分に確保してあり、評価した。 3257 グループは、食材の温度管理について提案がなされていた点や、アレルギー対応の洗浄ラインがある点から評価した。 7684 グループは、食材の動線が交差せず、アレルギー対応の洗浄ラインがある点から評価した。また、回収エリアのスペースが十分確保されている提案であった。
4 調理設備・備品計画	<ul style="list-style-type: none"> すべてのグループにおいて、食数、献立、調理時間を十分に踏まえた設備、備品を提案がなされ、衛生面、安全性ともに十分配慮した提案だった。 0509 グループは、余力を持たせた機器の選定や、将来の食数減を考慮し、調理作業等に支障がない程度に面積を抑えている点を評価した。 3257 グループは、余力を持たせた機器の選定や、安全性・負担軽減に関する提案がなされている点を評価した。 7684 グループは、安全性・負担軽減に関する提案がなされている点や、食器に亶理町独自のイラストを印刷する提案が高く評価された。

評価項目	講評
5 施設、設備のメンテナンス性	<ul style="list-style-type: none"> すべてのグループにおいて、メンテナンスのしやすさに配慮した提案がなされていた。
6 施工計画、施工方法等	<ul style="list-style-type: none"> すべてのグループにおいて、経済性や効率性が重視された提案となっていた。 0509 グループは、工事期間中の近隣住民への配慮や施工検討会の開催の提案がなされていた。 3257 グループは、デジタルツール活用による効率化や週間定例会議の開催、システム建築採用による工期の短縮の提案がなされていた。 7684 グループは、工事期間中の近隣住民への配慮やデジタルツール活用による効率化、互理町内資材センターの活用による資材調達コストの削減の提案がなされていた。

3 維持管理業務に関する事項

評価項目	講評
1 業務実績、維持管理体制、維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> すべてのグループにおいて、業務実績や体制など十分に提案されており、維持管理の内容が適切であった。また、故障時の具体的な提案もなされていた。 特に、0509 グループは、ボイラー遠隔監視システム、建築物清掃品質評価の実施や保守管理のメンテナンス（チェック）シート作成など他のグループより具体的な提案があり評価が高かった。
2 ライフサイクルコストに配慮した施設の長寿命化、修繕計画や引渡し方法等	<ul style="list-style-type: none"> すべてのグループにおいて、長期修繕計画が適切に提案されており、事業後の対応についても提案があった。 特に 7684 グループは、事業終了後1年間の維持管理事業者による問い合わせ窓口設置の提案がされており、DBO による15年事業後の引継ぎ経験がある点や食器の更新時期も提案されていた点から評価した。 0509 グループは、事業終了後1年間の維持管理事業者による問い合わせ窓口設置の提案がされており、15年事業終了後の引継ぎ経験があり、評価した。 3257 グループは、事業終了後1年間の維持管理事業者による問い合わせ窓口設置の提案がなく、評価が低かった。

4 運営業務に関する事項

評価項目	講評
1 業務実績、運営業務実施体制・品質の確保	<ul style="list-style-type: none"> すべてのグループにおいて、業務実績が十分にあり、具体的な人員構成の提案がなされていた。適正かつ妥当な採用計画であり、食育推進の提案もなされていた。 特に 3257 グループは、職員確保策や長期的な企業の取り組み、独自の健康支援アプリの活用に関して提案されており高く評価した。 0509 グループは、職員確保策や長期的な企業の取り組みや8種類のモニタリングを実施する点、職場体験やインターンシップ・イベントへの協力などの提案があり、評価した。 7684 グループは、職員確保策や長期的な企業の取り組みなどの提案が薄く、長期休業中の清掃体制について懸念があることから評価が低かった。

評価項目	講評
2 食の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> • すべてのグループにおいて、HACCP の考えに沿った対応が提案されており、食中毒対応は極めて高く、アレルギー対応、事故発生対応など極めて現実的な提案であった。 • 特に 0509 グループは、ISO22000(食品安全の国際基準)の取得をされており、アレルギー食の配膳やチェックするための十分なスペースがあり安心である提案だった。また、異物混入時の対応としての予備食の提案がなされていることから高く評価した。 • 3257 グループは、体制として懸念されるところはないものの、異物混入時の予備食・代替食の提案がみられなかったため、評価が低かった。 • 7684 グループは、研修も第一人者の方から助言をいただく体制でとても良く、異物混入時の対応としての代替食の提案がなされており、評価した。
3 衛生管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> • すべてのグループにおいて、各種マニュアルの作成や、セルフモニタリングのほか外部専門機関による検査の提案がなされていた。 • 特に、7684 グループは、高い洗浄力を持つ設備の導入が提案されている点や外部専門講師等が適切で、モニタリング等の指導も期待できる。また、従業員や同居者の感染時のリスク管理もしっかりと考えられていて体制が整っているため、高く評価した。 • 0509 グループは、衛生部の体制と HACCP サポートチーム体制の提案が良く、ATP 検査など日常のモニタリングをはじめ、その他モニタリング計画がとてもよいため、評価した。 • 3257 グループは、従業員や同居者の感染時のリスク管理もしっかりと考えられていて体制が整っている点や動画活用の提案がなされていたため、評価した。
4 配送・回収業務	<ul style="list-style-type: none"> • すべてのグループにおいて、適切な配送計画の提案がなされていた。 • 特に 7684 グループは、校内カルテ、モニター等で安全性を担保されており、実地検分を十分に計画を立てられているようで、安心感がもてるため、高く評価した。 • 0509 グループは、マニュアル・研修などを明示されているため評価した。 • 3257 グループは、多角的な研修の実施の提案がなされているため、評価した。

5 開業準備業務に関する事項

評価項目	講評
1 開業準備	<ul style="list-style-type: none"> • すべてのグループにおいて、開業準備に向けたチームを発足させる点や開業を見据えたリハーサルの内容と回数の設定がなされている点など、詳細な提案がなされていた。

2) 総評

本事業のプロポーザルに参加した3グループの提案は、本事業の目的を正しく理解し、本事業の確実かつ効果的な実現に向けた提案がなされていました。特に、事業スケジュール、施設、設備のメンテナンス性、開業準備といった点は、どのグループも優れた提案で、亘理町が要求する水準を上回る内容でした。

最後に、今回、本事業のプロポーザルに参加した各グループの皆様へ、多大なる尽力に対して敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げます。

3) 事業実施にあたっての要望

本事業をより良いものとするため、優先交渉権者に決定した7684グループに対し、選定委員会として次の点について要望します。

- ・本事業をより良いものとするため、亘理町の学校給食の実態を適切に把握したうえで事業全体を通して亘理町と十分な協議のうえ、密に連携して対応すること。
- ・肉魚下処理室と食品庫の部屋の広さを十分に確保すること。
- ・福利厚生室に、師範台を設置すること。(上下水道と電気整備も含む。)
- ・事務室など椅子を引いた状態でも通り抜けられるよう部屋の広さを確保すること。
- ・配送業務について、安全対策を最優先とした体制とすること。
- ・亘理町が実施するモニタリング等において、資料作成や情報提供など、積極的に協力すること。